

【種別】

[自在法](#)

【初出】

SII巻

【解説】

“ 坤典の隧 ” [ゼミナ](#)の使う自在法。

地面に大穴を掘り離脱する遁走の自在法。

本編開始の二年前に [[百鬼夜行](#)] が 『 [約束の二人](#) 』 と遭遇し逃走する際、この自在法と [ギユウキ](#) の 『 [倉蓑笠](#) 』 と [パラ](#) の 『 [ヒースの種](#) 』 を駆使して、『約束の二人』から逃げおおせることに成功した。

【由来・元ネタ】

「駛」は、馬が速く走ることの意味。そのまま、「地下を速く走る」という意味だろう。

「地駛」という言い回しは、中国語には存在するようだ。

【コメント】

[サブラク](#)が浸透した地面で使ったらどうなるだろう？

多分、穴は開くだろう。別に[サブラク](#)が浸透した部位は“ [存在の力](#) ”で強化されてる訳でもないだろうし。ただ、[サブラク](#)を敵に回す事になるので、やる機会は無かっただろう。

XXI巻でニューヨーク [外界宿](#) 『 [イーストエッジ](#) 外信 』の地下蔵の床板まで掘り抜いたのはこれだろうな。

[アニメ第3期](#)では使用された描写がなかった。